

今日も面白い授業がありました

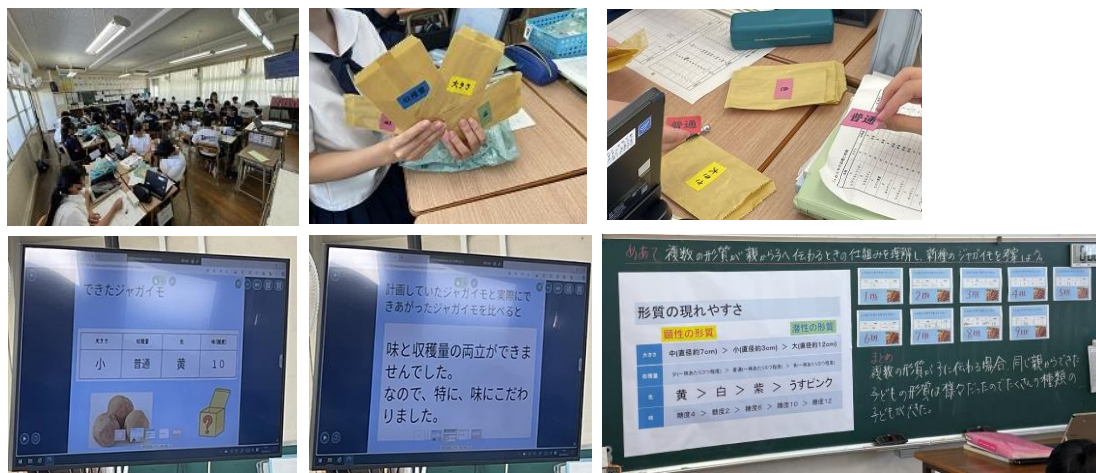
今日は、面白い授業を2つ参観しましたので紹介します。

1. 3年生理科「遺伝」

遺伝の発展的学習として、『品種改良』について勉強しました。

「大きさ」「色」「収穫量」「味」の4つの特徴をもとに、シミュレーション活動をととして自分たちが作りたい新種のじゃがいもづくりをめざす授業です。子ども達はそれぞれの遺伝子情報を無作為に選び、交配することで、新たなじゃがいもを作ります。しかし、なかなか思ったとおりのじゃがいもはできません。四苦八苦しながら、思考を働かせ、めざすじゃがいもを作ろうとしていました。子ども達は皆、集中して活動しており、楽しく参観できた授業でした。

「やっぱり授業は面白い!」と強く感じた授業でした。



2. 3年生道徳「2通の手紙」

動物園の入園係の方が、規則を破り幼い姉弟を入園させた話をもとに、「規則や決まりの意義」について考える授業でした。

決まりを守ることは当然だけれど、「かわいそうだから」「せっかく来たのだから」「夢をかなえてあげたい」などの肯定派意見と、「安全面」「平等」などの面からの否定派意見に分かれました。

その後、母親からの感謝の手紙と懲戒処分、2通の手紙をもらった主人公が辞職したことをもとに、「主人公が学んだこと」や「決まりや規則の意義」について考えました。

道徳の面白さは多様な価値観に触れることにあります。正解・不正解はありません。私たちも生活する場面で様々な選択をする場面に出会います。それがはたして良かったのか、良くなかったのか? たくさん悩んだり葛藤したりします。だからこそ、道徳の授業で、様々な考えに触れることで、解決法や何を大事にしたらよいか、などを学びます。今日、参観した学級では、たくさん意見交換をする場面がありました。道徳の授業は、意見交換があるから面白いと思いました。

